



校報 水糸者

No. 840

29年度・第13号



命を守る学習『避難訓練』を行いました

…日頃から『構え』と『備え』を…

25日(火)に避難訓練を行いました。

今回は、地震により校内で火災が発生した時の正しい避難経路の確認など、命を守るために安全な避難の仕方を、久慈消防署種市分署消防士が立ち合い教えていただきました。

東日本大震災や、熊本での地震など、自然災害や火災などの怖さをしっかりと理解している子ども達は真剣に訓練を行い、落ち着いて放送を聞き、指示に従い安全に指定場所まで避難する事ができました。

昔は「災害は忘れた頃にやって来る」と言われたものですが、今は「災害は、いつでもどこにでもやって来る」ものとなっています。

火災や自然災害の恐ろしさは、『いつ、どこで発生するかわからない』ところにあります。

日ごろから『避難経路(逃げ道)を確認しておく』

⇒『放送を聞く』⇒『きまりを守り、速やかに避難(お・か・し・も)』することが、命を守ることに繋がります。

避難訓練は「わかる」ために行うのではなく

「できる」ために行っていくものです。

今後とも災害に対する心構えや避難の仕方については、繰り返し意識させていきたいものです。



先日の防犯・交通安全教室、引き渡し訓練に続いての『命を守る』大切な勉強でした。



昨年度は消火器を使い『消火訓練』を行いました。今年度は、部屋に煙を充満させての『煙体験』を行いました。実際の体験は得ることが多いものです。有意義な避難訓練、煙体験となりました。

神戸と東日本大震災の教訓として、避難した後にそこにある道具や材料を使い煮炊きができ、そこに居る人たちとコミュニケーションを取りながら、励ましあって本格的な救助を待てる事が命をつないでいくための重要なポイントであると言われています。

その意味で、5学年が6月に予定している県北青少年の家での宿泊研修体験での『がまん』や『不自由』、『協働・協力』といった体験は、「生きる力」や「生き抜く力」を育てるために大切な行事となります。

ご理解とご協力に



感謝・感謝

校門前が安全になりました！

PTA 総会や 24 日付文書でもお願いしておりました「校門付近の自家用車乗り入れについての『時間制限』」につきまして、早速皆さまからのご理解とご協力をいただいております。



このような事は、お1人でも「ちょっとだからいいだろう」、「制限時間の1分前だからいいだろう」、「みんなもやっているからいいだろう」など、個々の解釈や事情だけで行動されますとうまくいきませんが、種市小学校の保護者の皆さんは種小っ子209名の「命と安全」をしっかりと考えていただいている証拠でもあります。



皆さまからのご理解とご協力に深く感謝いたします。

今後とも、この『時間制限』の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

お知らせ・お願い

①ホームページの閲覧数が6万超になっていました！

本校のホームページの閲覧数が、6万回を超えていました。28年度だけでほぼ1万回の閲覧となります！

本校の教育活動に興味と関心を持っていただいている方が多くいる事をうれしく感じています。これからも、種小っ子のかげやきをどんどん発信していきます。

②緊急メール送信 システム「まちcomi」への登録を

29年度の「緊急メールシステム」がいよいよ始動しました。

運動会の開催有無などの緊急連絡には、28年度から導入している「緊急メール配信システム」への加入が、確実に迅速に情報が伝わり大変便利です。

保護者の皆さんの早めのご加入・ご登録をお願いします。

昨年度に登録した保護者約200名分は、24日に一斉に削除しましたので、どなたもまた新たに登録するようにしてください。

なお、登録方法は4月25日付けの文書を参考にしてください。

登録方法など何か不明点は学校までお問い合わせください。



③スクールバス乗車時のマナーとルールの再確認を

本校では、町民バス1台を含め、合わせて5台のスクールバスが運行されています。利用する子ども達に対しての、スクールバスの安全な利用方法や乗車時のルール・マナーなどについては、定期的実施しています。

先日、スクールバスの運転手さんから「座らないで、立ち歩く子がいた。注意しても聞かなかった。大変危ない。」と、連絡がありました。

スクールバス内でのマナーやルール違反は「命」にかかわる事につながります。

お子さんのスクールバス利用時の様子について、親子でも再度確認し合ってください。